

目 次

【総合報告】

地球環境変動の解明をめざして－海洋における CO₂ 観測から－ p 2～5

【緊急報告】

平成 16 年 (2004 年) 新潟県中越地震の余震分布に見られる二重の地震面 . . . p 6

平成 16 年の台風の特徴 p 7

平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨, 平成 16 年 7 月福井豪雨の
発生要因と雲解像モデルでの再現結果 p 8～9

数値モデルによる台風の予測の研究 p 10～11

平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震で発生した津波の
現地調査と数値シミュレーション p 12～13

気象研究所海洋データ同化システムによる海洋変動の再現 p 14～15

西部太平洋域の自由対流圏における微量気体の変動 p 16～17

温暖化予測情報に関わる基礎的研究 p 18～19

日本の地域気候変動予測をめざして p 20～21

水の相変化を考慮した大気境界層の構造の研究
－結露条件下の風洞実験と野外観測－ p 22～23

マイクロ波分光放射計による水蒸気鉛直分布観測に関する研究 p 24～25

表紙説明

図 (b) はレーダー、アメダスの観測値から求めた 2004 年 7 月 13 日 09 から 12 時の 3 時間積算降水量分布。矢羽はアメダスによる観測風。これに対し図 (a) は、前日 22 時のデータを初期値として、水平分解能 1.5km の NHM (非静力学雲解像モデル) が予想した同じ期間の 3 時間積算降水量分布。矢印は予想した地上付近の風。(「平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨, 平成 16 年 7 月福井豪雨の発生要因と雲解像モデルでの再現結果 (加藤輝之)」関連)